

コロナ禍の中の社会貢献製品

地元企業 紹介

コロナ禍の暮らしは、私達の生活様式だけでなく企業にも様々な影響を与えています。今回、地元企業の中で、社会貢献としての製品を製造している2つの会社へインタビューを行い、製品のこととその製品を作った背景などをお聞きしましたのでご紹介します。お忙しい中、早く答えて下さいました。

ミユキ精機株式会社 飛沫感染防止パネル

代表取締役
しまくら くにひろ
島倉邦広さん



「製品名は『飛沫感染防止パネル』といいます。弊社には、大型のレーザー加工機が工場にあるので、透明なアクリル板をお客様の要望に合わせ、形状・寸法を計り、商品を好みやすい勝手の良いものへ変更していきます。特徴は、カットした断面が滑らかでしつとりと手になじみ、触り心地もよいということ。アクリル板の透明度が高く、向かい合っ

て会話をしているという感じがあまりないということでしょうか。」

「一年前、コロナでパンデミック(世界的大流行)が起き、その中でも製品が作れないか幹部と考えた時、テレビでアクリル板を見て飛沫感染防止用に作れると思い、製品化しました。こうしたパネルを作る会社は他にもありますが、米沢市内だけでなく、東京の取引先のお客様からも口コミで様々な方面へ評判が広がっていき、現在まで3万枚納めました。(パネルの需要は一度落ち着きましたが、まだ続くと感じています。)」

断面を触ると滑らかで高級感あふれるパネル。インタビュー時は形状の違うパネルで話をしましたが気になりませんでした。日本テレビ番組「さんま御殿」でも使われているそうです。



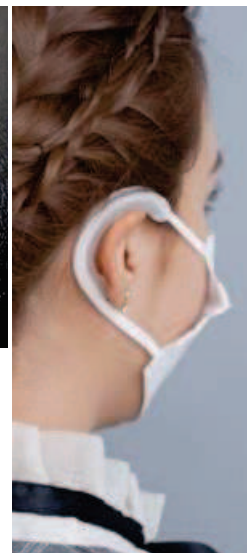
代表取締役
あいた まさと
相田正人さん

株式会社エスアンドケイ イヤピー



「製品名は『イヤピー』といます。形状は耳の形です。溝にマスクのゴム部分を入れて、マスクのゴム紐で起こる耳の痛みやストレスを軽減します。素材はゴムとプラスチックの混合材エラストマーというものです。赤ちゃんの哺乳瓶の吸い口部分で使われているもので、やわらかく、耳もかぶれる心配がありません。なくさない限り劣化もしないのでとても長持ちします。」

「この製品は、7年前従業員が付けていたマスクで耳が痛いと言っていたことで、形状や材質がひらめきました。そして半年で製品化して丸6年になりました。が、このコロナ禍でマスクの需要が増え、台湾や米国のアトラクタからも注文がきています。弊社は、この製品の特許を取得しましたので、今後はさらに海外へ向け



サイズは、男性用Lサイズ、女性用Mサイズ、子ども用Sサイズ、福耳用サイズと豊富。米沢市では、キムラ全店、ヤマザワ等でも取り扱っているそうです。また、眼鏡にも使えるとのこと。便利です。

自分に負けない強い心で

—塩井FACの子ども達 たくましく成長中—

今年は大さんの雪に恵まれ、塩井フアイヤーアスリートクラブFACの子どもたちは、アルペンスキーやクロスカントリースキーの練習に日々励んでいます。

今回は、アルペン、クロカンそれぞれの監督さんに日々の活動を報告して頂きました。

アルペンチーム

監督 高橋昭ちゃん

FACアルペンチームは、小野川温泉スキー場をホームグラウンドとして、1月から3月まで土曜・日曜日に練習をしています。今シーズンは、昨年とは違い積雪にも恵まれています。

しかしながら、新型コロナウイルスの影響で、市民総体をはじめ、次々と各種大会が中止となってしまうました。

今シーズンが始まった時から、大会の開催が不透明な事は、子供達もわかっています。それでも子供たちはスキーが出来る事、また自分が上達する



どれだけ記録を更新できるか、自分との闘い。懸命に練習に励んでいます。

事を純粋に喜び、夢中になって練習をしてきました。

今年のチームは、自主性が優れており、キャプテン、副キャプテンを中心に6年生が下級生を引っ張っています。技術面の向上は勿論のことながら、人間性の成長が顕著で非常に頼もしく感じています。



一つの例として、ロッジ内の荷物の整頓が挙げられます。子供達がゲレンデに出て行った後のロッジ内を見回すと綺麗に整頓されたチーム全員の荷物がありません。写真下コーチ陣から注意した事はあり



自ら進んで荷物の整頓ができるということは、本当に素晴らしい事です！

ません。この様な子供達の成長の陰には、家族のサポートがある事に間違いありません。そんな保護者と子供たちに支えられながらアルペンチームの活動は続いています。

クロスカントリースキーチーム

監督 渋谷 誠さん

今年度の塩井FACクロスカントリースキーチームは、3年生から6年生まで20名で活動しています。

昨シーズンは記録的な雪不足により全ての大会が中止となりましたが、今シーズンは十分すぎるほどの降雪があり「今年こそは」と意気込んでトレーニングを行っておりました。

しかし今回は新型コロナウイルス：参加を予定していた全ての大会が中止となりました。

そうした状況の中ではありますが、毎週土日塩井小学校クロスカントリースキーコースや、田沢の市営コースにて練習を行っております。田沢のコースではアップダウンのある1キロ程度のコースを滑る



大会では、持てる力を発揮し一人ひとりが素晴らしい滑りを見せてくれました。



全力を出し切り、大会後すがすがしい表情を見せる皆さん。各種目1位・3位にはメダルが授与されました。

ため、相当きつい練習となる事もあります。子どもたちは黙々と練習メニューをこなしています。しかし大会が無いという事で、どこか物足りなさを感じているように思えました。そんな子どもたちに何か目標を！という思いがコーチ陣にあり、今シーズンは塩井FACクロスカントリースキーチームとしての自主大会を開催する事となりました。

大会は2月21日に田沢のコースにて行いました。チーム内ではありますが、子どもたちは「ライバルに負けない！自分に負けない！」と意気込み、それに素晴らしい滑りを見せ、感動を与えてくれました。

今シーズンの活動も残り少なくなってきましたが、塩井FACの原点でもある「スポーツを楽しむ！」ことを忘れず、こんな状況の中でも地域に笑顔と活力を与えられるような活動をしていきたいと思えます。



塩井コミセン ホームページ

ぜひご覧ください!

塩井コミセンでは、ホームページを立ち上げています。

地域の話や、コミセン事業の募集や報告、貸館の予約状況、さらにコミセンだよりは毎月カラーで見ることができます。

これまでのたよりも遡って見ることができますよ!

ぜひ、チェックしてみてください。



←スマートフォン等から、こちらのQRコードを読み取ると、塩井コミセンホームページが見られます!

塩井出身

せみしぐれ 本名
瀬見詩暮さん(後藤知子さん)の書籍を
コミセンへ寄贈いただきました!



瀬見詩暮

懐かしい塩井での子ども時代を
一冊の本にしました

塩井町川辺出身の瀬見詩暮さん(後藤旧姓吉川知子さん)が昨年7月、『子どもの時間ーわ・た・しは私になるー』(写真左)を出版され、この度塩井コミセンへ寄贈下さいました。

著書には、後藤さんの幼少時代の地域の暮らしの様子や様々な出来事が、当時後藤さんが思ったこと、感じたことと共に表現豊かに綴られています。また、今でも塩井に残る名所が懐かしい情景として事細かに書かれています。ぜひ読み取って当時の様子を感じてみて下さい。

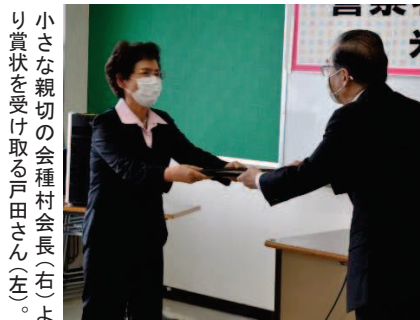
◇著者 後藤知子さんよりコメントを頂きました。
「子どもの時間」は、私が育った昭和25、30年代を中心に、米沢の農村の暮らしを綴りました。
さいごの女の子が、様々な経験をして、少しずつ成長していく様子を書きました。
楽しく読んでいただければ幸いに存じます。

プレイバック昭和・平成

～塩井コミセン思い出写真館より～

塩井地区の懐かしい写真を紹介するこのコーナー。今回は、「昭和62年塩井少年教室 雪灯籠づくり」を紹介します。

当時少年教室では、上杉雪灯籠まつりに合わせて、毘沙門堂境内に雪灯籠を作成。まつりを盛り上げていました。



小さな親切の会種村会長(右より)賞状を受け取る戸田さん(左)。

2月19日(金)、米沢小さな親切の会主催「米沢警察署と小さな親切を語る会」が行われ、その席上で小さな親切実行章の表彰があり、川辺の戸田きよさんが受章されました。
戸田さんは、昨年の10月自宅前で80代の女性から「道に迷った」と声を掛け

とっさの判断で高齢の女性を保護

戸田きよさん 小さな親切の会 実行章受章

それまで戸田さんは、女性の自宅に電話したところ認知症であることがわかり、自宅まで車で送り届け、無事に家族へ引き渡すことができました。
戸田さんは、相手の窮状を察し、不安にならないよう声掛けをしながらとっさの判断で保護対応されました。
この素晴らしい行動は、事故防止に大いに貢献したとし、この度の受章となりました。おめでとうございます。



3月のお知らせ



市健康課より

「令和3年度健診希望調査」の回答をまだ受付ます！

健診希望調査とは、令和3年度どのように健診を受けるか伺い、集団健診の予約受付も同時に行う大切な調査です。市の健診を希望しない方も必ず回答して下さい。

■対象となる人

昭和22年4月1日～昭和57年3月31日生まれで、令和3年1月28日時点で米沢市国民健康保険に加入されている方

■調査の発送日 令和3年1月28日(木)

■回答方法

同封のはがき(ピンク色)、電話、電子申請のいずれか

■問合せ

市健康課 成人保健担当
Tel 24-8181

今月の行事 (2月24日現在)

- 4日(木) 移動としょかんアタゴオル号来館
- 5日(金) 塩井地区運営協議会総会
- 11日(木) 塩井土地改良会議
- 詩吟研修……………4(木)、11(木)、18(木) (予定)
- ヨガサークル……………2(火)、23(火)
- ソフトヨガサークル…4(木)、25(木)
- 毘沙門ラージ……………1(月)、8(月)、15(月)、22(月)、29(月)
- 塩井麻雀愛好会……………3(水)、10(水)、17(水)
- 曉美都会……………3(水)、10(水)、17(水)
- 結いの木ラージ……………6(土)、13(土)、20(土)、27(土)

塩井の伝統行事

毘沙門堂 みずのえたつの火伏まつり

冬の午後の毘沙門堂写真と共に



かた雪の上を歩いてきた人が、池を見たところをパチリ。



青空の中の毘沙門堂。真っ白い雪の上には木々の影が映っていました。

塩井町の世帯と人口

世帯数 932戸 (-3戸)
 人口 2,427人 (-5人)
 男 1,156人 (-4人)
 女 1,271人 (-1人)
 令和3年1月末日現在

塩井の冬の伝統行事『毘沙門堂みずのえたつの火伏まつり』が、2月13日(土)の午後に行われました。この日は穏やかなとても良い天気恵まれ、別当延徳寺の稲葉隆映住職による護摩祈禱が行われた後、お札とともに清められた水が町内ごとの当番によって配られました。

ました右下写真。この水は、家の屋根にかけて無火災を祈ります。コロナ禍のため、毘沙門堂へ来る方々が今年は少なかったようですが、当番によって工夫して配られたようです。500年以上も続く伝統行事は今年もつぎがなく終了しました。

御祈禱された水を配って火の用心



護摩祈禱をされる稲葉住職。



米沢市消防団第七分団より

- 県内はもとより全国で痛ましい火災が発生しています。
 - 洗濯物をファンヒーターの上で干していませんか。
 - コンセントにはほりりがたまっていませんか。
 - 配線に傷はありませんか。たこ足配線になっている場合もよく確認して下さい。
 - タバコの火の始末は大丈夫ですか。
 - 調理中、火のそばから離れて忘れていませんか。
- 火災が発生しないよう皆で火の始末には十分注意しましょう。

令和3年度分の市民税・県民税申告相談受付が、3月15日(月)まで市役所6階大会議室を会場に行われています。

時間は午前9時～午後3時30分まで
 指定された日に申告できなかった方、期限が近づきました。早めの申告をお願いします。

詳しくは『広報よねざわ』の1月15日号をご覧下さい。

問い合わせ/市税務課市民税係 22-5111

市民税・県民税の申告書の收受と申告相談受付

申告相談受付